

マイルストーン(milestone)

みなさんの進路選択の目印となりますように

福山市立城東中学校 第3学年
進路通信 No.6
2017年(平成29)年12月12日

1. 志望理由書を書く

志望(しぼう)理由書(りゆうしょ)とは、選抜(I)・推薦入試などを受検する際に提出が求められる書類です。(学校によっては、自己(じこ)推薦書(すいせんしょ)・エントリーシートとも呼びます。)一次選考(書類審査)の判断基準になるだけでなく、その後の面接試験でも使用されるため、志望理由書の内容が合否(ごうひ)に影響します。

ほとんどの人が、志望理由書を書くのは初めての経験ですから「何を書いていいかわからない」と不安になると思いますが、まずは志望理由書を書くために「自己(じこ)分析(ぶんせき)」をしてみましょう。

- ① 学校のパンフレットをよく読んで、受検する学校の特長について、もう一度じっくり調べてみましょう。そのうえで、「学校の目指(めざ)している目標(こう) (校(こう)是(ぜ)・校風)に共感したから」「設備が充実していて、学びたい勉強(部活動)がしっかりできるから」「将来のために資格を取得したいから」など、その学校を志望した理由を書きましょう。
- ② 学校を選びきっかけについて触れておきましょう。「おもしろそうだから」「かっこいいから」などの漠然とした印象ではなく、「オープンスクールや行事への参加経験から」「ふだんの生活で在校生と接して」「兄姉が通学している」など、志望するきっかけとなった具体的な例を挙(あ)げて説明をしておくのがよいでしょう。この場合、一般論(いっぱんろん)ではなく、自分の感じ方が伝わるような内容にするのがポイントです。
- ③ 入学してからどんなことを頑張りたいか、決意を書きましょう。前記(ぜんき)の動機を元に、入学を許可された場合にはどんな学校生活を送ろうと思っているか、努力(どりょく)目標(もくひょう)を書いて終わるとよいと思います。「以上のことから」「そのため」「私は将来、大学へ進学したいと考えています。そこで、進学に力を入れておられる貴校(きこう)で、ぜひ学びたいと思いました。」といったように、きちんとした締(しめ)くくりで終わらしましょう。



2. 記入の進め方

- ① 下書きをする。(必ず内容は自分で考えます。担任の先生や親が考えるものではありません。)
- ② 下書きを担任の先生に読んでもらう。(字の大きさ、言葉使い、誤字、脱字のチェックのため)
- ③ 願書と同様に鉛筆で下書きをしてから、一文字一文字丁寧(ていねい)にペンで清書します。最終行の中ほどまでは埋(う)めるようにしましょう。
- ④ 内容を控(ひか)えておき、理由書(りゆうしょ)は指定された日に中学校に提出します。
- ⑤ 控(ひかえ)をもとに、当日の面接に備(そな)えて内容の復唱(ふくしょう)や応答(おうとう)の練習をしておきましょう。

※裏面は、下書き用紙です、12月18日(月)までには、担任の先生に確認してもらい、提出用(清書)の用紙を受け取りましょう。最終締め切りは、12月22日(金)終業式までです。